

最強 SPORTS WAGON



ラインに同調しないシンボリックなウイングで、スポーツというテーマを完璧に決定つけている。もちろん、足もとを飾るボルクレーシング・ツリーリングエポリーション(8x17)が、このイメージづけに大きく貢献していることも忘れてはならない。

チューニングのほうはというと、基本的にはアベックス・スーパーインテーク&スーパーメカホンマフラーとい

う吸・排気系のポテンシャルアップがメイン。そこにAFC(エアフロー・コンバーター)をセットして、エアクリの性能を最大限に引き出している。さらに、AVC-1Rによってブースト圧を1.1kg/cmにアップし、これもFマネージ(燃調)によって完全制御。基本メニューを最新鋭のデジタルチューンが絶妙にサポートし、ノーマルからじつに40psアップの260psをコンス

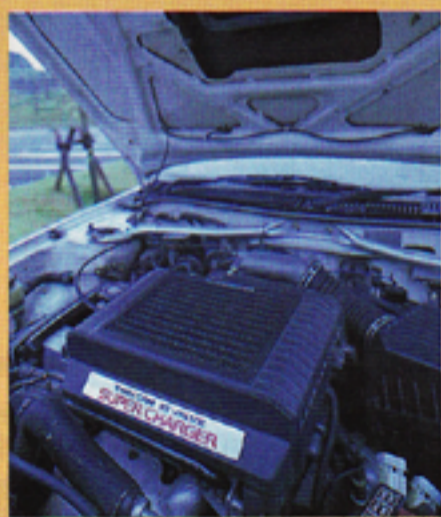
タントに発揮するに至っているのだ。そして、走りへのこだわりは足まわりにもおよび、トリアル・オリジナルのダンパーキットで、かなりハードにセッティング。ブレーキの強化もぬかりない。いつでもスタンバイOK、戦闘態勢は万全といったところか。

ワゴンのスポーツへの可能性を表現したフルチューンド・インプレッサ。スポーツカーに道を譲らせる迫力だ。

NISHIMOTO・スプリンター・カリブ

4A1GZで武装したマツタックな1台

PHOTO ● 犬塚直樹



ボンネットフードもAE92のものを加工して装着。ブレーキキャリパーはF92用、R86用をスワップしている。この移植ワザにも驚かされるが、17インチのホイールにも注目/これだけデカイとタダモノでないって感じ

パツと見はスポーツワゴンと呼ぶにはほど遠いたたのカリブ。でもよく見ると、ボンネットにエアインテークが……。

なんと、このカリブにはAE92のエンジンがそっくり移植されている。つまり、4A1GZ、スーパーチャージャー搭載というわけなのだ。さらに足まわりも、

AE92用、AE86用で強化。RVの皮を破ったスポーツワゴンだったのだ!



オーナーの西本さんは、AE92の事故車を手に入れて、このエンジンを積めるクルマを、ということでカリブを買ったのだとか。ボディサイドには"4WD"のマークが残っているけど、もちろん実際はFFだ

'95
7月
8月